公益財団法人
みらいファンド沖縄

2022年度
令和4年度

第13期
事業報告書

2023年5月1日

2011年の、東日本大震災による寄付への関心・意識の高まりや、「市民公益税制」の整備、そして2012年の、内閣府の基金事業「新しい公共支援事業」をきっかけとする市民コミュニティ財団設立の動きが広がった。またクラウドファンディングの浸透など、寄付や社会貢献への意識や期待は高まっていた。2014年には、市民コミュニティ財団の全国組織である一般社団法人全国市民コミュニティ財団協会が設立。2016年には遺贈寄付を推進する全国レガシーギフト協会の設立（当財団加盟）や休眠預金活用に係る法律（2016年12月9日）が可決され、2019年度より、第1回の休眠預金活用事業が実施された。地域社会を構築していくための社会的投資の動きが活発になっている。一方で、市民の志を基にする社会資源を活用するには高い倫理規範と成果を求められている。

2022年度は第13期となり、新型コロナウイルスも3年目となり、年度末には政府方針も見直され、イベントなどは対面で行われる機会が増えてきた。公２の資金循環事業では、休眠預金事業新型コロナウイルス対応緊急支援助成を活用し、コロナ禍で子どもたちの体験保障をオンラインで取り組む助成事業の取り組みをスタートした。また、寄付と助成のプログラムにはコロナ禍での寄付金募集の相談が多く寄せられた。地域円卓会議では、オンライン円卓での開催はなくなり、対面とハイブリッド円卓会議で、16回開催した。コロナ禍で人に会えなかった分、人に会って話したいと思う人が増え円卓会議への参加者も戻ってきた。琉球大学の公共政策士の講義では、円卓会議の開催方法については全15の講義を行い、ノウハウの提供を行った。寄付受け入れ環境のデジタル化の取り組みについては取り組むことができなかった。

2022年度　方針 に基づき事業実施	◆ 地域円卓会議を実施し課題の可視化と共有、ノウハウの提供 ◆ 公益税制を活用した基金事業の実施 ◆ 休眠預金交付金事業取組 ◆ 遺贈寄付の取り組み体制づくり、普及啓発 ◆ 寄付者コミュニケーションのデジタル化 ◆ ガバナンスコンプライアンス体制の構築

組織理念：みらいファンド沖縄のミッションとビジョン

社会の共感を育て、資金の循環を促す仕組みの構築

当法人は、沖縄における公益活動団体と、公益活動を支えたい企業、団体、個人等とを橋渡しするため、市民活動の社会的基盤の充実を図り、諸資源の循環をもたらすことで、地域のあらゆる主体が公益を担い、沖縄の未来を支え合う社会の実現に寄与することを目的とする。
（定款第3条）

情報流通

市民活動の情報発信を促進し、市民の“共感”を育む

公益ポータルサイトの運営
ソーシャル・ヒトワク
広報誌等による情報発信
県内外の寄付文化に関する情報収集と発信

資金循環

“共感”による寄付で、市民活動団体が自律的かつ継続的に活動できる環境づくりをめざす

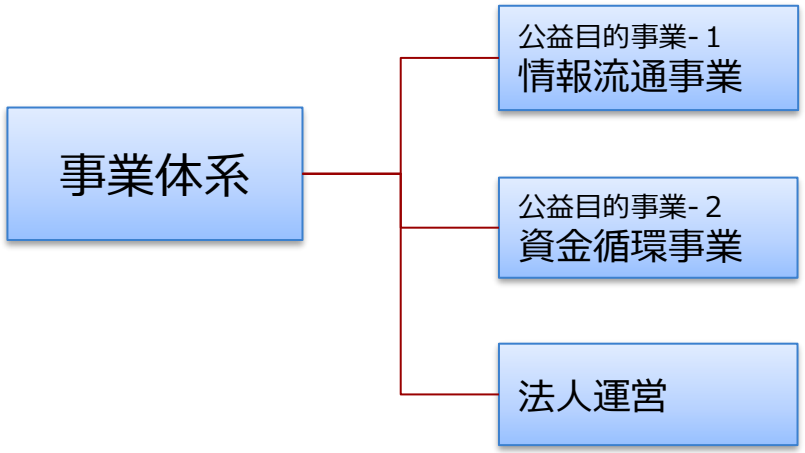
市民活動を支援する基金の運営
市民活動団体への寄付と助成のプログラム提供
寄付文化を醸成するフォーラム等の開催
他機関の助成プログラム等の支援
企業CSR/CRMの促進

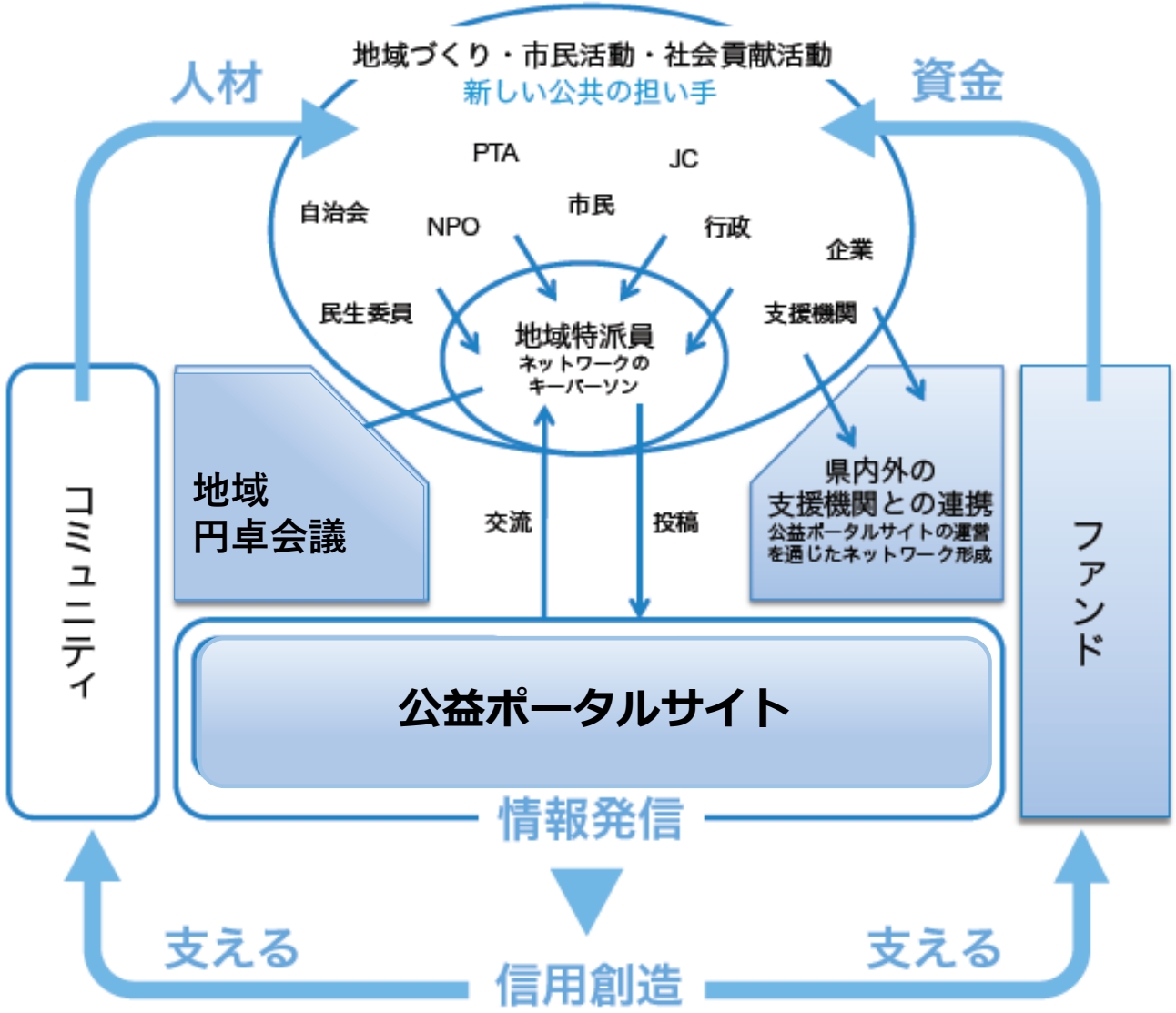
事業スキーム

社会の共感を育て、資金の循環を促すしくみの構築に取り組む

当財団は、市民コミュニティ財団として公益法人格を有して、以下の公益目的事業を実施する。

コミュニティ財団とは、地域の人々によって設立され、地域のために活動する慈善事業組織です。この組織は、地域からの寄付によって成り立ち、市民によって構成される理事会によって運営され、地域社会のより良い暮らしのために活動しています。資金源は多種多様であり、地域社会の長期的な生活の質の向上のために活用されています。これらの資金は地域社会の代表の選択により各種組織・目的に向けて配分されます。
（全国コミュニティ財団協会資料より抜粋）





ミッションに基づき2022年度に目指す成果目標

社会の共感を育て、資金の循環を促す仕組みの構築

情報流通

市民活動の情報発信を促進し、市民の“共感”を育む

公益ポータルサイトの再構築（2021年度より継続）

- 団体DBの絞り込み（＝助成団体の数）・基金ページの再構築
- CANPAN新しい情報を入れるとメリットが団体側にある（CANPANの★連携は残す。企業には情報公開したくない団体も）
- 個人（ex,宇温基金）・企業も含めた情報流通のコンセプトの再検討
- 企業の社会貢献（CSR、CSV）の見える化（PRの場）することでビジネスチャンスも、企業広告を載せる（投資側も含めての視点、ESG投資）
- 過去の助成実施報告の発信

資金循環

“共感”による寄付で、市民活動団体が自律的かつ継続的に活動できる環境づくりをめざす

基金目的を達成する為の基金運営方法の構築

- 基金特性ごとに分類し、終結、継続などの判断をおこなっていく伴走支援の方法として、運営委員会方式を導入する。団体にステークフォルダーをつける）今後の条件とするか。運営マニュアルの策定。みらいFの商材にはなっている。
- じぶん基金-3基金の運営方法（運営委員会方式（事務局委員設置、運営方針、助成方針を決める）は一定の成果）
- PO育成（ FRと連携、沖縄20名、沖縄だけでなく）。人材育成の視点

寄付環境を担う人材育成と遺贈寄付の取組（10年の検証と次の目標設定）

- 遺贈寄付の受入体制をつくり普及啓発をはかる10周年事業にすべてからめる
- 寄付者コミュニケーションのデジタル化（領収書発行や送付業務）の検討

CI基金・部活派遣基金のファンドレイズ体制の構築

- 休眠預金活用事業について、2019年度が最終年度となることから評価を行っていく
- 2019年度通常枠の2022年度以降の取組みの方向性について示す必要がある
- 複雑な寄付募集でのSF管理体制の構築
- 他の人が円卓会議をチャレンジ

法人運営

ガバナンス･コンプライアンス体制を高め社会的に信頼される財団運営の構築

- ガバナンス･コンプライアンス委員会の設置
- コンプライアンス研修
- 内部通報窓口の設置

2022年度の活動ダイジェスト

2021年度の受入寄付額　40,337,758円（1,352件）
前年度比 △16,447,198円（+690件）

基金

- **寄付総額　23,890,560円　（2,042件）**
  - 2022年度内の採択：第15期たくす　6事業（ぴんくぱんさぁ・沖縄県女性の翼・株式会社アソシア・子どもの居場所こばんち・一般社団法人おきなわジュニア科学クラブ、一般社団法人サンゴ保全協会）
  - カスタマイズ　7事業（首里城アーカイブ基金、多文化ネットワークfuふ！おきなわ基金、ドネーションショップ基金、まちなか留学基金、ミマモライド基金、宮城巳知子ピースフィルムライブラリー基金、フードバンクオキナワ基金）
  - じぶん基金：4基金　新崎盛暉平和活動奨励基金、宮里大八国際交流基金、琉球宇温基金、中野五海・篠木あつ子基金）
  - うむさん基金（Ryukyufrogs基金、エンカレッジ基金、うむさんラボ）、沖縄まちと子ども基金、沖縄・離島の子ども派遣基金、首里まちづくり基金、みらいファンド沖縄を支援する基金
  - 寄付募集目標総額　31,546千円　前年度受付寄付総額　40,337千円

2/4　石嶺小学校区円卓会議

助成

- **助成総額　69,566,490円　休眠預金事業含む**　**※休眠コロナ緊急枠を除く**
  - たくす：第14期　5団体、第15期　6団体、　うむさん基金　2団体（うむさんラボ、Ryukyufrogs）
  - じぶん基金：新崎盛暉平和活動奨励基金　助成実施　２名、　琉球宇温基金　助成実施　2団体
  - じぶん基金：新崎盛暉平和活動奨励基金　助成実施　２名、　琉球宇温基金　助成実施　2団体

課題解決

- **地域円卓会議が好評！　16回開催・支援**
  - 開催場所（那覇市、八重瀬町、琉大、ハイブリッドオンライン開催）
  - テーマ（首里地域のお出かけに関わる暮らしと交通を考える、沖縄戦の伝え方を考える、八重瀬町水資源の活用のあり方、石嶺小学校区まちづくり、那覇市のファミサポを考える、犯罪被害者、ＪＳＴ地域共創ＦＸ）
  - 休眠部活円卓会議8本を主催
- **休眠預金活用事業、2022年度緊急コロナ枠決定**
  - 2019年度通常枠：沖縄・離島子どもの派遣基金事業→完了
  - 2020年度コロナ枠：『コロナ禍で孤立したNPOとその先の支援』事業→完了
  - 2021年度通常枠：「見守り自販機を活用した道迷い捜索と地域作り」
  - 2022年度コロナ枠：「みんなの配信プラットフォーム事業」

2/18　沖縄・離島の部活動等派遣費問題白書発行記念シンポジウム

2022年度の活動ダイジェスト（アウトプット）

資金循環

基金事業　20基金　寄付額　　助成額1,506万円

- テーマ型　5基金
- じぶん基金（ドナーアドバイズド）　3基金
- 寄付と助成のプログラム（事業指定基金）12基金

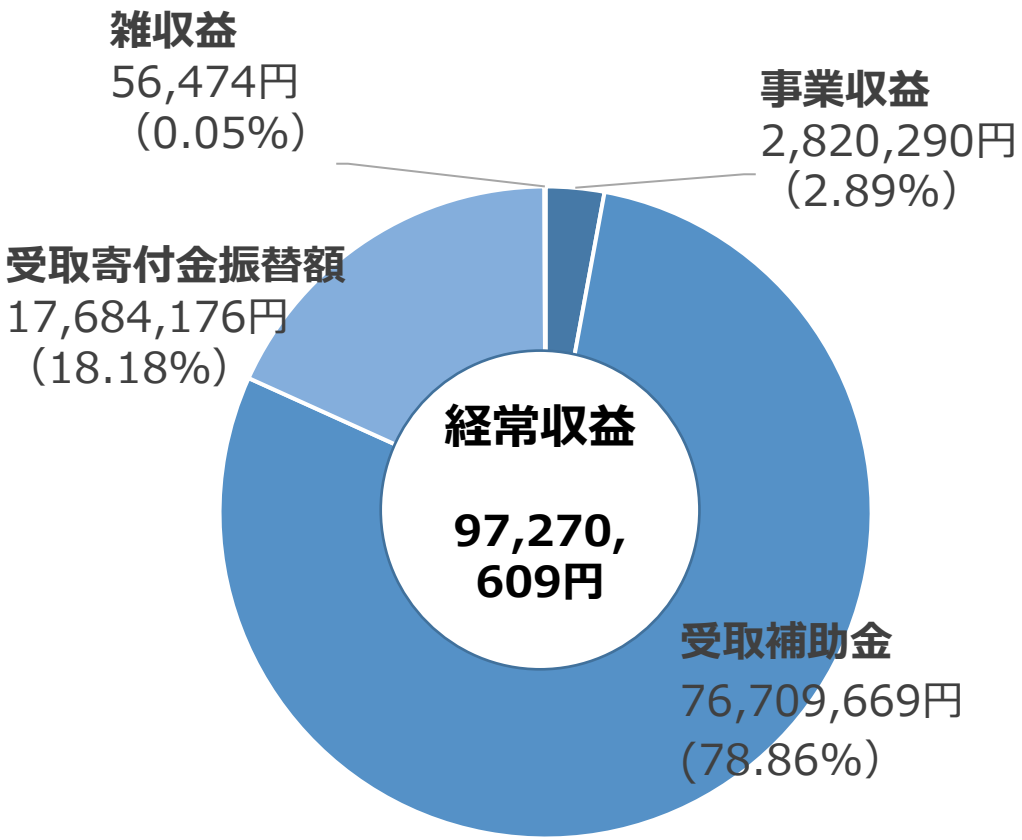
CI事業　休眠預金事業　3事業　助成額5,449万円　※2022年度コロナ枠の助成は無し

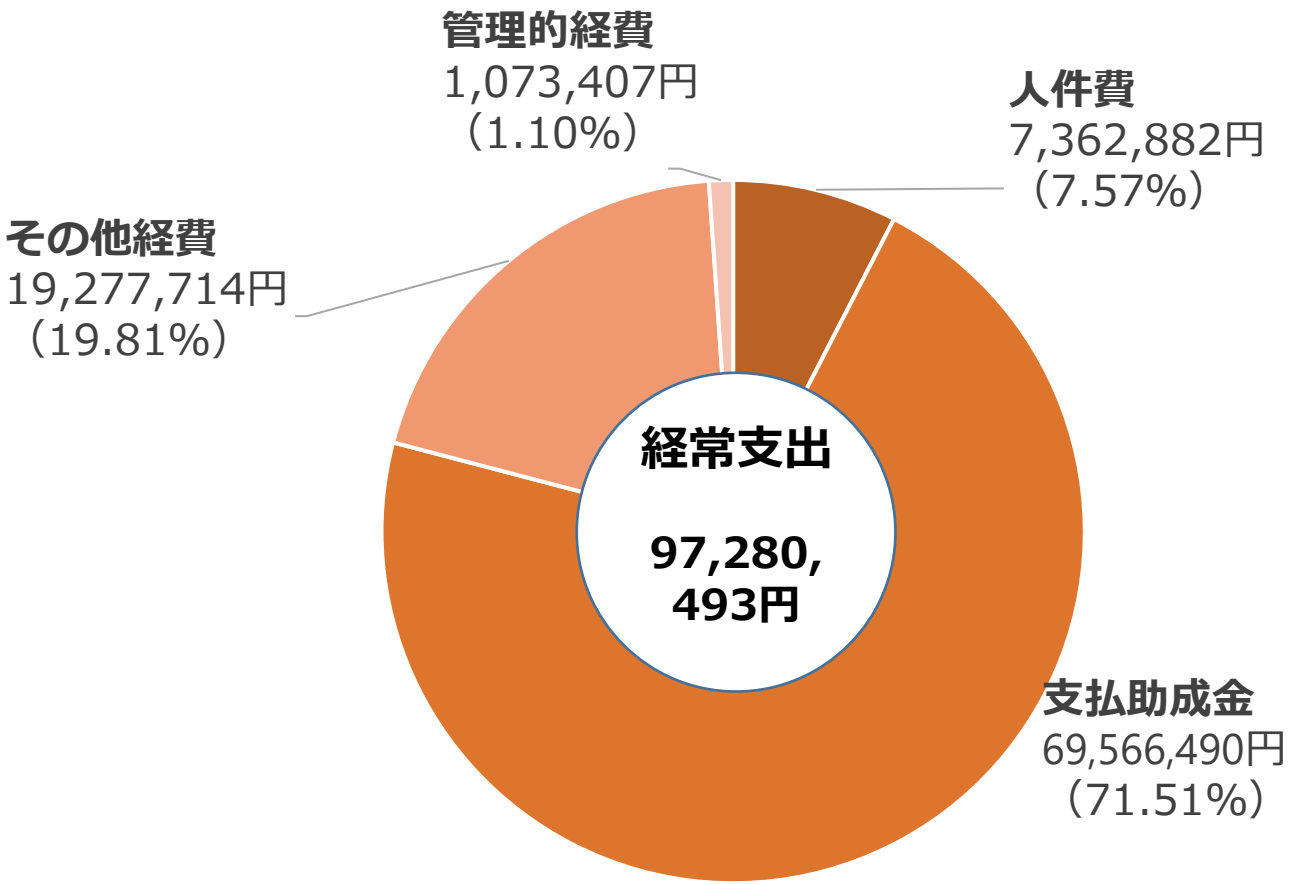
- 2019年度通常枠：沖縄・離島子どもの派遣基金事業
- 2021年度通常枠：「見守り自販機を活用した道迷い捜索と地域作り」
- 2022年度コロナ枠：みんなの配信と交流プラットフォーム

沖縄式地域円卓会議　16件　685人

- 休眠事業関係：8件　大学：2件　行政：2件　NPO：1件　高校:1件　社協：1件　議員：1件
- テーマ：子どもの部活派遣、認知症まちづくり、沖縄戦、犯罪被害者、小学校区まちづくり協議会、水資源

2022年度収支内訳


雑収益
56,474円
（0.05%）
事業収益
2,820,290円
（2.89%）
受取寄付金振替額
17,684,176円
（18.18%）
経常収益
97,270,
609円
受取補助金
76,709,669円
（78.86%）


管理的経費
1,073,407円
（1.10%）
人件費
7,362,882円
（7.57%）
その他経費
19,277,714円
（19.81%）
経常支出
97,280,
493円
支払助成金
69,566,490円
（71.51%）

決算（前年度実績対比）ー経常増減の部

	2022年度（実績）(a)	2021年度（実績）(b)	差額 (a)-(b)	説明
Ⅰ一般正味財産増減の部 １．経常増減の部（１）経常収益				
事業収益	2,820,290 (2.89%)	1,019,000 (1.69%)	1,801,290	・円卓会議で事業収益があったのは8/16 件（休眠事業内：8本）
受取補助金等	76,709,669 (78.86%)	43,500,616 (72.19%)	33,209,053	・休眠事業（2019年度通常枠　離島部活派遣、2021年通常枠　ミマモリ　2022年度コロナ枠みんなの配信（12月）
受取寄付金振替額	17,684,176 (18.18%)	15,645,396 (25.97%)	2,038,780	・寄付と助成の仕組みたくす14期が5団体、15期が6団体が採択され、多くの寄付金が寄せられ、助成につなぐことができた
雑収益	56,474 (0.05%)	90,176 (0.15%)	-33,702	
経常収益計	**97,270,609**	**60,255,188**	**37,015,421**	

決算（前年度実績対比）ー経常増減の部

	2022年度（実績）(a)	2021年度（実績）(b)	差額 (a)-(b)	説明
Ⅰ一般正味財産増減の部 １．経常増減の部（経常費用）				
事業費	96,207,086	54,648,363	41,558,723	
内人件費	7,362,882 （7.57%）	4,993,104 （8.29%）	2,369,778	休眠事業新型コロナ支援事業が増えたためスタッフ増員
内支払助成金	69,566,490 （71.51%）	41,280,010 （68.50%）	28,286,480	・内訳休眠事業：54,499,750円　法人（公２）:15,066,740円
内その他経費	19,277,714 （19.81%）	8,375,249 （13.90%）	10,902,465	休眠事業における管理的経費を、県立入監査で指摘を受け、事業費に繰り入れた為、大きく増
管理費	1,073,407 （1.10%）	5,606,825 （9.31%）	-4,533,418	休眠事業における管理的経費を、県立入監査で指摘を受け、事業費に繰り入れた為、大きく減
経常支出計	**97,280,493**	**60,255,188**	**37,025,305**	経費のうち71.51%は助成金として支出
当期経常増減額	**-9,884**	**0**	**-9,884**	

決算（前年度実績対比）ー一般正味財産、指定正味財産

	2022年度 （実績）(a)	2021年度 （実績）(b)	差額 (a)-(b)	説明
Ⅰ一般正味財産増減の部				
当期一般正味財産増減額	-9,884	0	-9,884	
一般正味財産期首残高	2,953,767	2,953,767	0	
一般正味財産期末残高	**2,943,883**	**2,953,767**	**-9,884**	
Ⅱ指定正味財産増減の部				
受取補助金等	281,674,644		281,674,644	
受取寄付金	23,890,560	40,337,758	-16,447,198	今年度の受取寄付金額
一般正味財産への振替額	94,510,513	15,645,396	78,865,117	
当期指定正味財産増減額	211,054,691	24,692,362	186,362,329	休眠事業2022年度コロナ枠で増
指定正味財産期首残高	33,944,571	9,252,209	24,692,362	
指定正味財産期末残高	**244,999,262**	**33,944,571**	**211,054,691**	
Ⅲ正味財産期末残高				
正味財産期末残高	**247,943,145**	**36,898,338**	**211,044,807**	

公１　情報流通事業

沖縄の寄付文化醸成のため全国との連携を図っている。2022年度は、全国コミュニティ財団協会では副会長として務めており、会員数は30法人と年々増加傾向にあり、全国におけるコミュニティ財団の信頼性の向上と政策提言、環境整備に努めている。また、全国レガシーギフト協会では、理事を務め、遺贈寄付の推進に取り組んでいる。

「公１情報流通事業」は、設立時より公益ポータルサイトを運営しているが、13年の経過とともに、見直しの必要に迫られている。本年度は、公益目的事業の要件を満たしながら、慎重に見直しを進めている。また、公益ポータルサイトや寄付システムのDX化に向けての取り組み準備をおこなった。

公１情報流通事業　実施した事業

区分	事業名	実施時期	事業の概要
公１ -(1)	公益ポータルの運営	通年	公益ポータルサイトの再構築に着手。沖縄NPO検索は団体情報が古くなっていることから、一度掲載を取りやめ、新規作成を行っている。報告ページをメニューに追加し、助成事業の結果報告をするための準備を進めている。ページ再構築中のためPV数などのカウントは行わなかった
公１ -(2)	他機関連携・情報収集	ー	全国の動向を知り、沖縄での寄付文化醸成に寄与するため、各機関の研修やフォーラムへ参加した。 ・おきなわ市民活動支援会議へ参加（月１回） ・全国コミュニティ財団協会（以下全コミ財）　副会長 理事会、研修会への参加 ・全国レガシーギフト協会　理事 ・寄付月間Giving December　欲しい未来へ、寄付を送ろう ・寄付月間推進委員

公１情報流通事業　実施した事業

区分	事業名	実施時期	事業の概要
公１ -(4)	ソーシャル・ヒトワクの放送	月1～2本 再放送あり （4本）	NPOの活動紹介と、NPOの活動を紹介するトーク番組をタイフーンfm（78.0MHz）で放送した。 NPOヒトワク– 放送回数12回 （2010年度からの通算237回）
公１ -(5)	みらいファンドニュースの発行	月1回程度 臨時号あり	メール、Facebookなど即時性を活かした情報発信を行う。助成やイベント等の情報を発信し、NPOのみならず社会貢献に関心のある方へ情報を提供し、参加機会の提供を行う。
公１ -(5)	季刊広報誌の発行		今年度の発行は特になかった。

公２　資金循環事業

新型コロナウイルスもオミクロン株の感染拡大後は、終息に向かっており、アフターコロナに向けて社会が動きだした。休眠預金事業の新型コロナウイルス対応緊急支援助成を申請し『みんなの配信プラットフォーム』事業が採択され、子ども体験保障に対してオンラインで取り組み事業がスタートした。また、2019年度通常枠で取り組んだ「沖縄・離島子どもの派遣基金事業」は、沖縄・離島の部活動等派遣費問題白書にまとめ、最後にシンポジウムを行い、関係者に取り組みの共有を行った。 助成期間は2023年3月で終結となった。

「寄付と助成のプログラム」では、第14期は、5事業、第15期は6事業と、寄付金控除の仕組みを理解し活用する団体が増えてきた。カスタマイズは、コロナ禍において緊急的に取り組んだ基金もあるが、今後見直しを行うためにも動きが止まっているものは基金の終結に向けて働きかけた。

基金運営については、デジタル化の流れ、業務の効率化の観点から、デジタル化を検討したが、着手には至らなかった。次年度以降は、取り組む必要がある。

遺贈寄付については、2023年で、団塊の世代が後期高齢者になることからニーズが高まることが想定されており、環境整備が急がれる。

「地域円卓会議」は、コロナ禍で開発したオンライン型は、今年度は行われなかった。対面やハイブリッド型での開催であった。対面を併用したハイブリッド円卓会議は、事務作業が当日の体制も増えることから年度初めに価格改定を行った。価格を上げたが回数は減ることなく、16回の開催となった。

公２　資金循環事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公２ -(1)	テーマ型基金 C001　世界若者ウチナーンチュ大会支援基金	2012年6月設置	今年度は特に活動なし。基金の今後の展開については、今後も継続することが確認された。
公２ -(1)	テーマ型基金 Ｃ002　沖縄まちと子ども基金	2012年12月設置	2022年度は「子どもの権利条約フォーラムin那覇沖縄実行委員会」の事業を採択し、一部助成を行った。助成額：1,000,000円 12/10-11　子どもの権利条約フォーラム2022in那覇/沖縄　沖縄大学
公２ -(1)	テーマ型基金 C003　沖縄・離島の子ども派遣基金	2020年度設置	沖縄・離島の子ども派遣基金事業の実施にともない基金設置。 2022年度は、2022年度豊見城市姉妹都市スポーツ交流事業　高知県土佐清水市スポーツ交流【少年野球】（豊見城市少年野球チーム　2件、4人）、266,000円と第35回マーチングインオキナワ2022（平真小学校、9人、145,350円）、（石垣第二中学校、42人、1,396,500円）の寄付募集を行い助成した。

公２　資金循環事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公２ -(1)	テーマ型基金 Ｃ005　まちなか留学HelloWorld	2020年度設置	Pc007（たくすカスタマイズ）からテーマ型基金へ移行 「世界各国に友達を！まちなか留学体験を様々な境遇の子どもたちに提供したい」提案者：ハローワールド株式会社　コロナ禍で事業が拡大している 選考会：2023年3月3日　オンライン 申請数：47名/50名募集 （子どもへの案内は、エンカレッジ、あしなが育英会が実施） 採択数：47名 選考委員：3名 全員採択し、推薦文が書けていない子どものサポートを行った。 実施日：4月末 報告会：2023年5月13日（予定）
公２ -(1)	テーマ型基金 Ｃ006　首里まちづくり基金	2022年度設置	基金の目的 首里地域のまちづくりの事業に対して基金を設置、寄付募集を行うと同時に、地域内から応募された企画に対して助成金を届けることで、首里城復興に合わせた地域の課題解決や地元の方にも観光客にも魅力的なまちづくりに寄与すること。 提案者：首里城周辺まちづくり団体連絡協議会 当基金運営委員会の参加団体 • 1）古都首里のまちづくり期成会　2）首里振興会 • 3）御茶屋御殿復元期成会　4）城西小学校区まちづくり協議会 • 5）首里三ヶ城南校区まちづくり協議会 • 6）NPO法人 首里まちづくり研究会(すいまち研) ※首里杜会議事務局担当 さらにオール首里を目指し以下の団体も賛同参画 • 7）城東小学校区まちづくり協議会　8）石嶺小学校区まちづくり協議会 • 9）大名小学校区まちづくり協議会 2022年度は、高校生が企画・運営する「首里まちづくり基金事業 小中高生バンドフェスティバルin首里」を3月19日に首里城公園にて実施。 本事業へ当該基金より212,500円を助成した。

2023年3月19日
小中高生バンドフェスティバルin首里

公２　資金循環事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公２ -(2)	寄付と助成のプログラム 第14期たくす	寄付募集支援期間 2021年9月～2022年8月	寄付募集期間　2021年7月26日～8月17日 採択団体：5団体 • NPO乳がん患者の会ぴんく・ぱんさぁ（継続） 「乳がん患者が「元気に乳がんと闘う」ための環境づくりプロジェクト • 一般社団法人　沖縄県女性の翼（継続） 「女性のための自立支援金「沖縄県女性の翼・OK基金」」 • 株式会社アソシア（新規） 「若者シングルマザーを応援するシェルター支援事業」 • 子どもの居場所こばんち（新規） 「子ども達にとって<家庭・学校に次ぐ第三の居場所>地域で見守るネットワークづくり」 • 一般社団法人おきなわジュニア科学クラブ（新規） 寄付受入総額　5,955,800円　助成総額　8,077,311円
公２ -(2)	寄付と助成のプログラム 第15期たくす	寄付募集支援期間 2022年9月～2023年8月	募集期間：2022年7月15日～8月12日 選考会： 日時：2022年8月30日（金）13:00～15:00 場所：みらいファンド沖縄事務所及びオンライン会議システムZOOM 採択団体：6団体 • NPO乳がん患者の会ぴんく・ぱんさぁ（継続） • 一般社団法人　沖縄県女性の翼（継続） • 株式会社アソシア（継続） • 子どもの居場所こばんち（継続） • 一般社団法人おきなわジュニア科学クラブ（継続） • 一般社団法人サンゴ保全協会（新規） 「海と地域を豊にするサンゴ養殖プログラム基金」 寄付募集目標総額　22,218,000円

公２　資金循環事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公２ -(2)	寄付と助成のプログラム たくす　カスタマイズ	寄付募集支援期間	

基金名	助成先	2022年度寄付額	基金総額	所感
pc003　首里城アーカイブ基金	沖縄デジタルアーカイブ協議会	￥9,000	￥851,973	2019年度設置　→2022年度助成済報告書の提出依頼
pc005　多文化ネットワークfuふ！おきなわ基金	多文化ネットワークfuふ！おきなわ	￥0	￥1,050,000	2020年度設置　1回助成済 残り助成可能額　約40万円
pc006　Oki Hands Oki Hearts　ドネーションショップ基金	Oki Hands Oki Hearts	￥0	￥60,000	2020年度設置 残り助成可能額　約5万円
pc008　ミマモライド基金	合同会社トキニライド	￥54,000	￥126,000	2020年度設置
pc009　宮城巳知子ピースフィルムライブラリー基金		￥0	￥50,000	2020年度設置　→2022年度助成済　報告書の提出依頼
pc010　フードバンクオキナワ基金	フードバンクセカンドハーベスト沖縄	￥1,477,000	¥1,695,000	2021年度設置

公２　資金循環事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公２ -(3)	じぶん基金（個人創案型基金） J003 宮里大八国際交流基金	2015年設置	コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今回は公募は行わなかった
公２ -(3)	じぶん基金（個人創案型基金） J004 新崎盛暉平和活動奨励基金	2017年1月設置 寄付募集支援期間 2020年4月～	沖縄の歴史を踏まえ、沖縄の平和と人権を守り、沖縄を世界の平和の拠点とする市民の創造的実践活動、研究活動を助成することを目的として、この基金を設置します。 ・（第6期）募集期間：2022年5月1日（日）～5月31日（火） ・選考会：日時：2022年7月1日（金）19:00～20:30 場所：みらいファンド沖縄事務所（Zoom併用のハイブリッド式） ・助成金額：40万円　吉田勝廣さん、西由良さん ・第5期採択者の報告会は、第6回採択者の授与式・報告会および講演会として8月13日(土）にハイブリッド形式で開催した。
公２ -(3)	じぶん基金（個人創案型基金） J005 琉球宇温基金	2019年設置	志半ばで亡くなった宇温が参画していた活動をサポートし、課題の解決に貢献すると共に彼の遺志を引き継ぎ、彼の「幸せをつなぐ」という志を引き継ぎたい家族と有志が集まり、この基金を設立。 ・運営委員会：日時：2022年9月17日（土）10：30-11：40 場所：オンライン会議システム（ZOOM） ・助成金額：30万円×2件 １．特定非営利活動法人アメラジアンスクール・イン・オキナワ ２．一般社団法人　大学コンソーシアム沖縄

公２　資金循環事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公２ -(3)	じぶん基金（個人創案型基金） J006 中野五海篠木あつ子基金	2020年4月設置	国民国家の枠組みに囚われない平和意識の覚醒・構築（パラダイムチェンジ）を指向する研究。若手及び民間研究者の研究活動を助成し、その成果を社会に還元すること。 今年度は募集せず

公２　資金循環事業

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公２ -(1～3)	以上の基金・プログラムのファンドレイジング等の支援に関する業務	1月	遺贈寄付勉強会の実施 参加団体 みらいファンド沖縄、シナジープラス、TAパートナーズなど
公２ -(5)	地域づくりのための 助成事業活用シンポジウム ■構成団体　沖縄県地域づくりネットワーク、おきなわアジェンダ２１県民会議、沖縄県企画部、（公社）沖縄県地域振興協会、社会福祉法人沖縄県共同募金会、社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会、（公財）沖縄県文化振興会、沖縄銀行、琉球銀行、沖縄ろうきん、コープ沖縄、沖縄子どもの未来県民会議、琉球新報、(公財)みらいファンド沖縄	2月	令和4年度研修会 「コロナ禍の３年間をどのように過ごして、どのような学びがあったか」 日　時：2023年2月14日（火）14:00～17:00 場　所：沖縄県市町村自治会館４階 第２・３会議室 参加者：33名 司 会 平良 斗星 氏（公益財団法人みらいファンド沖縄 副代表理事） 登壇者 • ゴージャス理枝 氏（女性を元気にする会 代表） 金城 尚子 氏（沖縄県共同募金会） • 嘉手苅 直美 氏（ゆいまーるの会 代表） 知花 桐子 氏（沖縄県労働金庫） • 阿波連 剛 氏（社会福祉法人そてつの会 総務課長） 富山 麻美 氏（琉球銀行総合企画部サステナビリティ推進室） • 若園 篤利 氏（特定非営利活動法人困窮者支援ネットワーク 専務理事） 山城 正稔 氏（公益社団法人沖縄県地域振興協会） • 下地 邦拓 氏（EF Polymer 株式会社） 鈴木 涼子 氏（沖縄銀行総合企画部経営企画グループ） 第２部 グループワーク（90 分） 「今後、助成プログラムに求められる視点とは」 ファシリテーター 小阪 亘 氏（公益財団法人みらいファンド沖縄 代表理事） 平良 斗星 氏（公益財団法人みらいファンド沖縄 副代表理事） ■主　　催　地域づくりのための助成事業活用シンポジウム実行委員会

＊ 公２-(4)キャンペーン型基金については当年度は実施していない

公２　資金循環事業

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公２ -(5)	休眠預金活用事業　2019年度通常枠 沖縄・離島の子ども派遣基金事業 【担当PO：平良斗星　嘉数菜利子】 	2019年12月～ 2023年3月	・派遣件数、旅費負担額 子ども、指導者、帯同者の派遣　延べ196件、延べ1,561人をサポート 本事業を通じた旅費負担総額： 36,429,408円 （内訳） 休眠預金による旅費負担総額：25,852,735円 基金を活用した旅費負担総額：10,576,673円 実行団体 ・一般社団法人沖縄県サッカー協会 ・NPO法人豊見城市体育協会 ・株式会社ハブクリエイト（石垣） 助成額 （2020年度：21,110,000円） （2021年度：23,020,000円） （2022年度：20,740,000円） 実施事業 • 円卓会議1回8/26（金）　沖縄県サッカー協会 • 円卓会議2回9/16（金）　豊見城市体育協会 • 円卓会議3回9/26（月）　ハブクリエイト • 円卓会議4回11/12（土）　評価 • 子どもの権利フォーラム2022　12/11（日）　分科会C • シンポジウム　2/18（土）13時30分～16時　白書発行記念 • 集合研修　3/27（木）13時～17時　事業ふりかえり 沖縄・離島の部活動等派遣費問題白書　1500部印刷

公２　資金循環事業

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公２ -(5)	休眠預金活用事業　2021年度通常枠 「見守り自販機を活用した道迷い捜索と地域作り～認知症でもお出かけできる地域作りを目指して～」 【PD：平良斗星　担当PO：松田可奈子】 地域振興協会とコンソーシアムで実施	2021年2月～ 2025年3月	• 申請者：みらいファンド沖縄・地域振興協会JV • 申請金額：151,651,940円（3年） • 資金提供契約日：2月28日 採択：5団体 • ①特定非営利活動法人グランアーク • ②社会福祉法人西原町社会福祉協議会 • ③特定医療法人アガペ会 • ④合同会社Green Star OKINAWA • ⑤南風原町社会福祉協議会 助成額 （2022年度：21,110,000円） 実施事業 4/17　円卓会議　＆公募説明会　公募開始 4/20　オンライン公募説明会 6/27　選考会 7/7　模擬訓練 7/8　内定団体オリエンテーション 9/5　2次公募開始 9/13　2次公募説明会 11/14　集合研修 11/30　2次選考会 1/21　円卓会議　評価 2/7　模擬訓練+ワーク（西原社協） 3/2　円卓会議　若年性認知症（グリーンスター、アガペ会） 3/7　円卓会議　西原社協 3/22　年度末集合研修

公２　資金循環事業

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公２ -(5)	休眠預金活用事業 新型コロナ及び原油価格・物価高騰対応支援助成 『みんなの配信プラットフォーム』事業 【PD：平良斗星　幸地千華 担当PO：吉川牧子　久保田裕子】	2022年12月～ 2024年3月	• 期　間：2022年12月～2024年3月 • 契約額：176,390,000円（内助成150,000,000円） • 選考会：2023 年3月16日（木） • 内定団体オリエンテーション：2023年3月28日（火） • 採択予定：9団体/ • 内定団体 【配信コンテンツ開発部門】 ・株式会社ハブクリエイト ・社会福祉法人 若杉福祉会 ・一般社団法人 琉球フィルハーモニック ・C→BRASSウインドオーケストラ ・一般社団法人 楽友協会おきなわ ・株式会社 NO MARK ・株式会社ワンスペース 【ネットワーク形成調査部門】 ・琉球新報社・スタジオレゾナンス共同事業体 【配信技術調査部門】 ・NPO法人沖縄イベント情報ネットワーク 【調査研究部門】 ・未採択

公２　資金循環事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公２ -(6)	地域円卓会議の開催・支援	通年	地域の社会的課題の解決のための対話の場である「地域円卓会議」の開催・支援を行った。 地域円卓会議：16回　参加人数：685名（昨年度254名　昨年比＋431名）

	日付	内容	主催	参加人数
1	4/17（日）	認知症まちづくり地域円卓会議	沖縄認知症見守りコンソーシアム	27名
2	7/9（土）	首里地域の「お出かけ」に関わるくらしと交通を考える地域円卓会議	那覇市議会 無所属の会・沖縄地域社会ビジョン大学院運営協議会	91名
3	8/26（金）	【第3弾】サッカー協会と部活動派遣費問題を考える地域円卓会議	沖縄県サッカー協会 みらいファンド沖縄	12名
4	9/16（金）	【第3弾】部活動派遣費問題を考える地域円卓会議in豊見城	豊見城市体育協会 みらいファンド沖縄	19名
5	9/26（月）	【第３弾】部活動派遣費問題を考える地域円卓会議in八重山	ハブクリエイト みらいファンド沖縄	21名
6	10/5 （水）	末吉公園の自然を守る円卓会議	なは市民活動支援センター	39名
7	11/12 （土）	【第4弾】部活動派遣費問題を考える地域円卓会議	みらいファンド沖縄	20名
8	11/15（火）	沖縄戦の伝え方を考える地域円卓会議	関東学院中学校高等学校	43名
9	1/20 （金）	八重瀬町水資源の活用のあり方に関する地域円卓会議	八重瀬町・琉球大学 JST SOLVE for SDGsプロジェクト	72名
10	1/21（土）	【第2弾】認知症まちづくり地域円卓会議	沖縄認知症見守りコンソーシアム	48名
11	2/4（土）	石嶺小学校区地域円卓会議	石嶺小学校区まちづくり協議会、 那覇市まちづくり協働推進課	91名

公２　資金循環事業

	日付	内容	主催	参加人数
12	2/28（火）	那覇市のファミサポを考える 地域円卓会議	社会福祉法人那覇市社会福祉協議会	26名
13	3/2（木）	若年性認知症に関する地域円卓会議	特定医療法人 アガペ会、合同会社Green Star OKINAWA、沖縄認知症見守りコンソーシアム	30名
14	3/7（火）	認知症まちづくり地域円卓会議in西原	社会福祉法人西原町社会福祉協議会、沖縄県認知症見守りコンソーシアム	47名
15	3/18（土）	犯罪被害者支援地域円卓会議	那覇市議会無所属の会～犯罪被害者支援～ひだまりの会okinawa	29名
16	3/29（水）	沖縄の養豚と食資源循環に関する地域円卓会議	琉球大学 COI-NEXTフード・トランスフォーメーションが結ぶ環境・観光アイランド実現拠点	70名

7/9　首里地域の「お出かけ」に関わるくらしと交通を考える地域円卓会議

公２　資金循環事業

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公２ -(6)	コレクティブインパクト事業	通年	沖縄における重要課題において、コレクティブインパクトで社会課題解決を行う事業に取り組む ①沖縄県認知症高齢者見守り推進事業 ②子どもの貧困問題の解決
公２ -(6)	各種勉強会の開催	随時	特になし

＊ 公２-(7)寄付付き商品の企画・提案・コーディネイトについては当年度は実施していない

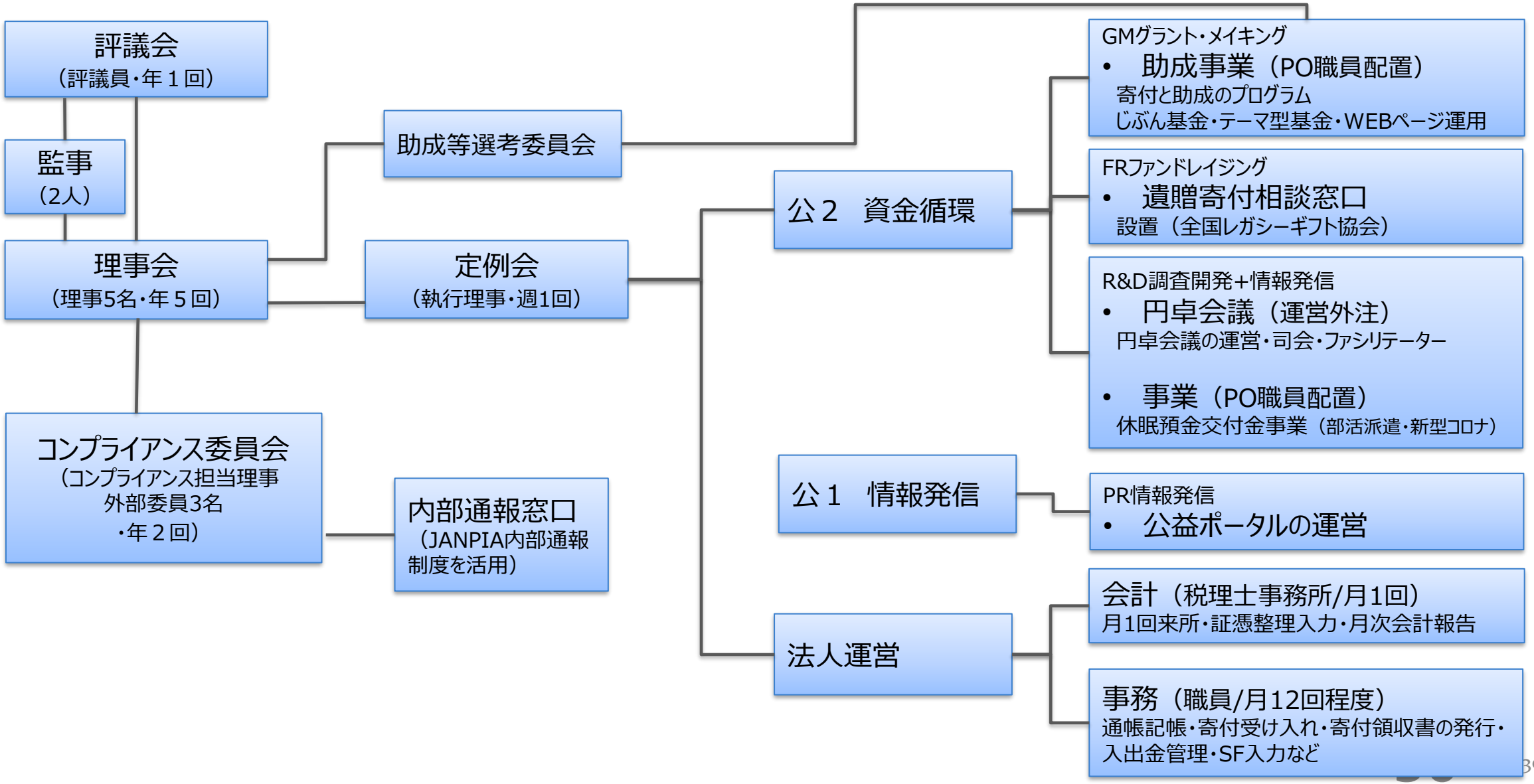
法人運営

職員が増えており、主にパートタイムが多く、現状に合わせた規程の改定などが求められている。労働環境を整える必要が高まっており、社労士との顧問契約を見据え調整を行った。また、全国において休眠預金事業の実行団体による問題などが生じており、資金分配団体においてより高いガバナンス・コンプライアンスが求められている。内部通報窓口からの通報件数は0件。

法人運営

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
法人	評議員会の開催	6月	第1回　定期評議委員会 日時：2022年6月27日（月）電磁的記録により実施 議事：第１号議案　2021年度事業報告及び決算の承認の件 第２号議案　評議員の選任に関する件 第３号議案　監事の選任に関する件 第４号議案　理事の選任に関する件
法人	監事監査	5月	日時：　2022年5月12日（金）10:00～12:00　場所：　みらいファンド沖縄　事務所 監事：　名城佳枝　山崎新
法人	理事会の開催	通年	第1回　2022年5月 26日（木）10:00～12:00　前年度事業報告の承認など 場所：　みらいファンド沖縄　事務所　および　オンライン会議Zoom 第2回　2022年7月6日（水）　電磁的記録により実施　代表理事改選の件 第3回　2022年9月15日（木）10:00～12:00　法人運営状況報告、個人情報管理規定と方針の承認など 第4回　2022年12月7日（木）13:30～15:30　法人運営状況報告、2022年度補正予算についてなど 第5回　2023年2月9日（木）　10:00～12:00　法人運営状況報告、役員関連会社との取引の承認など 第6回　2023年3月23日 (木)　10:00～12:00　法人運営状況報告、次年度事業計画および予算の承認など 場所：　みらいファンド沖縄　事務所　および　オンライン会議Zoom
法人	コンプライアンス委員会の開催	9月　3月	第1回　2022年10月18日（火）10:00～11:30　場所：みらいファンド沖縄　事務所　委員：保田隆男 ※第2回　2023年3月14日（火）を予定したが、担当者が体調不良のため延期
法人	事務局体制	随時	定例会　毎週火曜日10時　休眠預金－部活定例（常務理事2名および職員2人にて実施） 毎週木曜日10時　みらいファンド定例（常務理事２名にて実施） 毎週金曜日10時　休眠預金－認知症定例（常務理事2名および職員3人にて実施） 職　員：新城やよい（週3回勤務） 嘉数菜利子（週3回勤務）休眠部活担当PO 松田可奈子（週3回勤務）休眠認知症担当PO 比屋根友美（週2回勤務）休眠認知症事業　経理担当（6月～うむさんより派遣職員） 吉川牧子（週3回勤務）休眠みんなの配信担当PO 久保田裕子（週2回勤務）休眠みんなの配信担当PO 会計業務：大城税理士事務所に委託　月次報告

当法人におけるガバナンス　組織体制



役員一覧

■評議員　（任期（4年）：2022年6月27日～2026年評議員会まで）

役職	氏名	所属
評議員	イナガキ　ジュンイチ 稲垣 純一	一般財団法人 沖縄ITイノベーション戦略センター　理事長
評議員	マキヤ　ミツコ 真喜屋 光子	有限会社センチュリー経営企画（マキの靴）代表取締役
評議員	ノハ　マサヒロ 饒波　正博	沖縄赤十字病院勤務　なは市民協議会
評議員	イトカズ　ミキ 糸数　未希	NPO法人にじのはしファンド代表
評議員	モトムラ　マコト 本村　真	琉球大学キャリア教育センター　センター長・人文社会学部教授
評議員	ツヅキ　ヨウコ 續　洋子	NPO法人1万人井戸端会議　副代表/事務局長

■理事　（任期（2年）：2022年6月27日～2024年評議員会まで）

役職	氏名	所属
理事 代表理事	コサカ　ワタル 小阪　亘	特定非営利活動法人まちなか研究所わくわく　代表理事
理事 副代表理事	タイラ　トウセイ 平良　斗星	株式会社エフエム那覇　会長
理事	オナガ　ユウキ 翁長　有希	一般社団法人沖縄県キャリア支援・教育連携協議会 理事 一般社団法人be.らぼらとり 代表理事
理事	テルキナ　トオル 照喜名　通	沖縄県難病相談支援センター 認定ＮＰＯ法人　アンビシャス　副理事長
理事	チネン　タダヒコ 知念　忠彦	医療法人天仁会 天久ヒルトップ 施設長

■監事　（任期（4年）：2022年6月27日～2026年評議員会まで）

役職	氏名	所属
監事	ナシロ　ヨシエ 名城 佳枝	大学非常勤講師、ファイナンシャルプランナー、沖縄県金融広報アドバイザー
監事	ヤマザキ　アラタ 山崎　新	一般社団沖縄じんぶん考房　代表理事

組織概要

名　称	公益財団法人 みらいファンド沖縄
英　名	Mirai Fund Okinawa Inc.Foundation
設立年月日	2010年4月23日
公益認定日	2011年4月1日
事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
代表理事	小阪　亘
設立経緯	財団設立供出金300万円を 93名の市民から寄付を頂いて 設立
住　所	〒903-0824 沖縄県那覇市首里池端町34　2Fタイフーンfm内
加盟団体	一般社団法人全国コミュニティ財団協会 一般社団法人全国レガシーギフト協会

みらいファンド沖縄は、市民のみなさまからの寄付により、設立した「市民立」の財団です。

沖縄の公益活動団体を意志ある人々によって支え合う――みらいファンド沖縄の設立趣意に共感し、設立時拠出金をご寄付くださいましたみなさまに、感謝申し上げます。

設立時拠出金に寄付くださったみなさま
（五十音順・敬称略）

秋葉 武　新井 裕子　新垣 八重子　（有）新垣ちんすこう菓子店
有井 安仁　東濱 克紀　認定 NPO 法人アンビシャス
石原 達也　今津 新之助　岩田 直子　（株）エフエム那覇
（株）エフエム 21　遠藤 聡志　大城 逸子　大城 喜江子
大城 幸代　大城 成信　大城 武久　大見謝 恒章
NPO 沖縄シニアの会　川北 秀人　菊之露酒造（株）　金城 嘉志
金城 和光　（株）クレイ沖縄　古我知 浩　小阪 亘　小橋川 繁
小松 かおり　呉屋 貴司　佐久間 愛弓　下地 美香
（特活）首里まちづくり研究会　佐脇 広平　新開 育恵
新星出版（株）　杉浦 幹男　関口 宏聡
税理士法人添石綜合会計事務所　添石 幸伸
（特活）ソーシャル・デザイン・ファンド　平良 斗星　平良 恵津子
地域情報エージェント（株）　知花 茂　知念 金徳
（特活）ちゅらしまフォトミュージアム　當間 愛晃　戸田 幸典
渡真利 雅男　仲村 一真　中村 聰　（特活）日中文化交流センター
比嘉 司　平井 雅　福岡 智子　前田 比呂也　真喜屋 光子
（特活）まちなか研究所わくわく　松本 哲治　宮里 大八
宮道 喜一　宮島 さおり　米野 史健　山城 岩夫　山城 司
与儀 隆一　與古田 清順　（特活）ライフサポートてだこ
（有）ルーツ　若尾 貴広　若尾 美希子　渡邊 真寿美
匿名にて寄付くださった方々

（合計 93 名、300 万円）

受入れ寄付額と助成の実績（2010-2019）

		受入寄付 年度達成額	受入寄付 累積達成額	助成金交付 年度実施額	備考
2010 （第1期）	創業期 財団機能 構築（公益認定・ 税額控除）	9,197,780円	9,197,780円	5,755,250円	・受入寄付額には拠出金を含む ・震災関連寄付を含む
2011 （第2期）		3,824,684円	13,022,464円	2,427,218円	・受入寄付額にはみらいファンド沖縄への寄付を含む ・震災関連寄付を含む
2012 （第3期）		5,170,037円	18,192,501円	3,709,315円	・受入寄付額にはみらいファンド沖縄への寄付を含む
2013 （第4期）	開発期 助成プログラム・ 円卓会議の確立	4,920,777円	23,113,278円	2,383,834円	・受入寄付額にはみらいファンド沖縄への寄付を含む
2014 （第5期）		2,760,362円	25,873,640円	2,549,919円	・受入寄付額にはみらいファンド沖縄への寄付を含む
2015 （第6期）		12,718,093円	38,591,733円	1,745,517円	・受入寄付額にはみらいファンド沖縄への寄付を含む
2016 （第7期）	普及期 事業プログラムの 実施・FR機能の 強化・確立	29,679,412円	68,271,145円	1,325,250円	・受入寄付額にはみらいファンド沖縄への寄付を含む
2017 （第8期）		19,839,830円	88,110,975円	3,287,547円	・受入寄付額にはみらいファンド沖縄への寄付を含む
2018 （第9期）		30,349,469円	118,460,444円	70,000,454円	・受入寄付額にはみらいファンド沖縄への寄付を含む
2019 （第10期）		6,560,495円	125,020,939円	4,342,750円	・受入寄付額にはみらいファンド沖縄への寄付を含む

受入れ寄付額と助成の実績（2020-2029）

		受入寄付 年度達成額	受入寄付 累積達成額	助成金交付 年度実施額	備考
2020 （第11期）	緊急・展開期 休眠預金活用事業の実施・事務局機能の強化	7,394,952円	132,415,891円	44,208,552円	休眠預金事業の部活派遣事業とコロナ支援事業の助成金の内訳が39,888,015円
2021 （第12期）		40,337,758円	172,753,649円	41,280,010円	休眠預金事業の部活派遣事業とコロナ支援事業の助成金の内訳が23,711,356円
2022 （第13期）		23,890,560円	196,644,209円	69,566,490円	休眠預金事業の部活派遣事業と認知症みまもり事業の助成金の内訳が54,499,750円
2023 （第14期）					
2024 （第15期）					
2025 （第16期）					
2026 （第17期）					
2027 （第18期）					
2028 （第19期）					
2029 （第20期）					

略年表（2009-2013）

年度	みらいファンド沖縄の主なできごと	社会の主なできごと
2009 H21	•キックオフフォーラム	•衆議院選挙で民主党圧勝 •裁判員制度施行
2010 H22	•法人設立 •那覇市「地域づくり・公益活動支援事業」受託（緊急雇用事業） •「じぶん基金」プログラム２基金スタート •沖縄NPOデータベース公開	•普天間基地の辺野古移転が白紙に •沖縄県民税の寄附金控除対象法人が拡大 •「新しい公共」円卓会議 •11月　仲井眞知事 再選 •12月　ISO26000発効 •3/11　東日本大震災
2011 H23	•公益財団法人化 •「寄付と助成のプログラム」スタート •H23「沖縄県新しい公共支援事業」受託 •クレジットカードにて寄付決済サービス開始 •PSTをクリアし、税額控除認定を受ける	•6月　新しい市民公益税制が成立 •6月　改正NPO法が成立 •7月　なでしこジャパン FIFA杯優勝 •10月　世界のウチナーンチュ大会
2012 H24	•H24沖縄県「新しい公共支援事業」受託 •「世界若者ウチナーンチュ大会支援基金」設置 •カンパイチャリティを開催 •「沖縄まちと子ども基金」設置	•4月　新認定NPO法人制度スタート •5月　沖縄の本土復帰40周年 •8月　ロンドンオリンピック •11月　那覇市長に翁長氏が４選 •12月　衆議院選挙で自民党圧勝 •2月　浦添市にNPO出身の市長が誕生
2013 H25	•4月　事務局をタイフーンfm内に移転 •6月　国交省 事業受託 •7月　累積寄付受入額　2000万円を突破	•4月　インターネット選挙解禁 •6月　富士山が世界遺産に •11月　旧民法法人の移行特措期間終了

略年表（2014-2016）

年度	みらいファンド沖縄の主なできごと	社会の主なできごと
2014 H26	•6月「寄付と助成のプログラム」を再編し公募開始 •6月一般社団法人全国コミュニティ財団協会設立、設立時九州ブロック理事として参画 •3月全国コミュニティ財団協会海外招聘事業フォーラム・研修 「米国のコミュニティ財団100年の歴史に学ぶ」	•4月　消費税増税（8%に） •5月　日本創生会議が自治体の896が消滅の危機にあると発表。地方消滅（通称増田レポートの発表） •9月　第2次安倍内閣にて、地方創生担当大臣に石破茂とまち・ひと・しごと創生本部を設置。 •9月　FIFAワールドカップ ブラジル大会 •12月　沖縄県知事に翁長雄志氏が当選 •2月　介護保険制度の改正（要支援１，２が予防給付の対象除外に）
2015 H27	•10月　じぶん基金　宮里大八国際交流基金を設置 •12月　寄付月間、全国規模の寄付推進の取り組み、寄付月間推進委員として、沖縄で寄付推進に取り組む •1月　遺贈寄付　第1号を受け入れる •2月8日　みらいファンド沖縄5周年記念イベント ドネーションパーティ＆サンクスデー ・琉球大学、名桜大学とCOC＋円卓会議開催（県内5カ所）	•普天間基地の辺野古移転が白紙に •沖縄県民税の寄附金控除対象法人が拡大 •「戦後70年談話」 •9月10日　関東・東北豪雨　鬼怒川氾濫 •9月19日　参院本会議で”安保法”可決 •11月13日　「パリ同時多発テロ」発生 •12月　寄付月間が、寄付を推進する全国的な取り組みが初めておこなれた。 •2月　国勢調査で初めて人口減少 1920年の調査開始以来初めて。
2016 H28	・7月　沖縄県が、県内の深刻な子どもの貧困の解決に向けて 沖縄子ども未来県民会議を設置　事業部会の委員として参画 ・11月　マニフェスト大賞　優秀賞　受賞 ・11月　全国レガシーギフト協会　設立総会（みらいファンド沖縄加盟） ・税額控除認定　更新 ・1月　新崎盛暉平和活動奨励基金　を設置 ・累積寄付受入額　5000万円を突破	・1月　日銀がマイナス金利政策を導入したことにより、長期金利が過去最低を更新 ・4月14日、16日　熊本地震、初めて震度7が2回観測 ・5月　伊勢志摩サミット　オバマ米大統領が広島訪問 ・12月2日　休眠預金活用法成立 ・1月　ドナルド・トランプの第45代アメリカ合衆国大統領就任

略年表（2017-2020）

年度	みらいファンド沖縄の主なできごと	社会の主なできごと
2017 H29	•11月　助成財団シンポジウム（助成財団センター）と実施 •1月　沖縄県で初めて遺贈寄付研修をNPO向け、士業向けに実施 •3月　沖縄県が寄付月間2017で賛同パートナー特別賞を受賞 •3月　1年間で16回の円卓会議を開催（過去最高件数）	•1月　トランプ大統領就任、米国第一主義を掲げる •3月　特定非営利活動促進法　成立20周年 •7月　都議選で都民ファーストの会が躍進 •9月　桐生　9秒98　日本人初の10秒台突破 •10月　第48回衆議院選挙　自民党が3分の2議席
2018 H30	•6月　評議員、理事、監事改選 •5月　寄付受入金額1億円突破 •12月　みらいファンド沖縄活動報告書2010-2018発行 •3月　沖縄式地域円卓マニュアル作成費のためのクラウドファンディング実施	・1月　仮想通貨流出、交換業者に改善命令 ・5月　将棋・藤井聡太、最年少で七段に ・8月　翁長沖縄県知事死去 ・9月　玉城沖縄県知事就任 ・11月 2025年大阪万博開催決定
2019 H31 R1	•7月　うむさんラボと協定を結びうむさん基金を設置 •11月　休眠預金交付金事業「沖縄子どもの派遣基金事業」事業スタート •12月　琉球大学の公共政策士資格取得のための科目履修に、沖縄式地域円卓会議の講座が含まれる。 •3月　理事会にコンプライアンス委員会を設置。第1回開催 •3月　内部通報窓口の設置	・1月　休眠預金-指定活用団体の決定 ・1月　休眠預金の発生 ・5月　新元号　令和 ・9月　台風・豪雨災害（台風15号、19号） ・9月　ラグビーワールドカップが日本にて開催 ・10月　消費税10%に引き上げ ・10月　首里城火災　正殿など焼失 ・11月 中国武漢にて新型コロナウイルス発生
2020 R2	• 4月　「新型コロナウイルス感染拡大への対応及び支援に関するNPO法人等緊急アンケート」をおきなわ市民活動支援会議で実施（4月6日～4月20日） • 4月　那覇市長に要望書を手交 • 8月　休眠預金活用事業-新型コロナウイルス対応緊急支援助成『コロナ禍で孤立したNPOとその先の支援』事業　採択 • 9月　初めてオンラインで地域円卓会議を開催	・3月　3日 政府要請により小中学校臨時休校（3/16 再開） ・3月　24日 東京五輪、令和3 年に延期決定 ・4月　7日 政府が7 都道府県に緊急事態宣言を発出（4/16 に全国に拡大）

略年表（2021-）

年度	みらいファンド沖縄の主なできごと	社会の主なできごと
2021 R３	•12月　遺贈寄付を考える円卓会議（みらいファンド10周年記念） •2月　休眠預金活用事業2021枠採択 •　　「見守り自販機を活用した道迷い捜索と地域作り」 •3月　寄付と助成のプログラムたくす採択団体の株式会社アソシア　「若者シングルマザーを応援するシェルター支援事業」にて大きな寄付金が寄せられる	•4月　3度目の緊急事態宣言（～6/20） •7月　東京五輪（夏季）開幕 •8月　東京パラリンピック開幕 •9月　デジタル庁始動 •10月　岸田内閣発足、衆議院議員解散 •11月　第2次岸田内閣発足 •11月　大リーグ　エンゼルス大谷翔平選手　MVP •11月　オミクロン株確認 •2月　北京五輪・パラ（冬季）開幕 •2月　ロシア軍、ウクライナ侵攻
2022 R4	•12月　休眠預金活用事業　新型コロナ及び原油価格・物価高騰対応支援助成『みんなの配信プラットフォーム』事業　採択 •2月　沖縄・離島の部活動等派遣費問題白書　発行　シンポジウムを開催 •PO　5名体制に	• 5月　沖縄復帰50年 • 7月　安倍元首相、銃撃され死亡＝６７歳、選挙応援演説中 • 8月　旧統一教会問題　過剰な献金 • 9月　玉城氏が再選＝沖縄知事選 • 12月　サッカーW杯　アルゼンチンが優勝 • 12月　旧統一教会などの被害者救済を図るため、悪質な寄付を規制する新たな法律が、１０日、賛成多数で可決・成立 • 1月　新型コロナ「５類」引き下げ、５月８日に • 3月　侍ジャパン、世界一＝ＷＢＣ